

2024 年 3 月 17 日作成

Ver.2.0.0

**放射線の晩発生影響を解明するための被爆・診療・健診情報と生体試料を一括したデータベースの構築****1、研究の目的と意義**

高齢化する被爆者に今なお持続する発がんリスクへの全人的な包括医療へ取り組むために、収集管理している個人被爆情報や診療情報と生体試料を一括としたデータベースを構築することを目的としています。

バンク構築によりこれらの試料・情報を、被爆に関連する様々な研究に用いることにより、被爆に伴う発がんの分子病理診断・分子標的療法・発がん機序等の研究推進につながると考えています。

**2、対象となる患者さん**

①研究機関を受診している方で、原子爆弾被爆時の年齢が 20 歳未満で、本研究へ参加する事について文書で同意を得られた者。

②《先行データベース登録者》

「晩発生被爆者腫瘍の分子疫学研究のための被爆・診療・健診情報と生体試料を一括したデータベースの構築」でデータベースに登録している者

**3、研究の方法**

共同研究機関を受診した若年被爆者のうち、同意を得た症例から被爆・診療情報と生体試料（血液、口腔粘膜または切除腫瘍組織）を提供していただく。保存形態は、血漿、血液単核細胞、口腔粘膜組織、B 細胞を Epstein Barr ウイルスにより株化した細胞株および切除腫瘍組織、細胞から抽出した DNA、RNA、タンパクとして保存する。

**4、研究に用いる試料・情報**

本研究は研究対象となる若年被爆者の方より上記の試料・情報の提供を受けて実施する研究です。

既に匿名化された試料・情報を用いるため、個人を特定する事はできません。

試料・情報利用の拒否を申し出ても対応できません。予めご了承ください。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**5、研究期間**

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

**6、外部への試料・情報の提供**

該当なし

## 7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。

《研究代表機関／研究代表者》

長崎大学病院 血液内科

氏名： 安東恒史

住所：長崎県長崎市坂本 1-7

電話：095-819-7111

FAX：095-819-7113

《共同研究機関／研究責任者》

長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学研究分野

中島 正洋

長崎大学 医歯薬学総合研究科

赤澤 祐子

人類遺伝学研究分野

吉浦 孝一郎

血液内科学研究分野

宮崎 泰司

公益財団法人長崎原子爆弾被爆者対策協議会

河野 友子

日赤長崎原爆病院 病理部

安部 邦子

詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

また、本研究の概要、研究実施機関は下記の URL から確認できます。

長崎大学原爆後障害医療研究所 原研内科

URL：<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/dhem/research/index.html>

## 8.お問い合わせ先

長崎大学病院 血液内科 担当者名 安東恒史

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7111 FAX 095（819）7113

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）